

I 経済の活性化

4 農・畜産・水産業の振興

主担当部局(長)名
農林部長 福谷 健夫

目指す姿

農業・畜産業・水産業と農村が持つ資源を最大限に発揮させることにより、奈良らしい農・畜産・水産業の振興と農村の活性化を図ります。

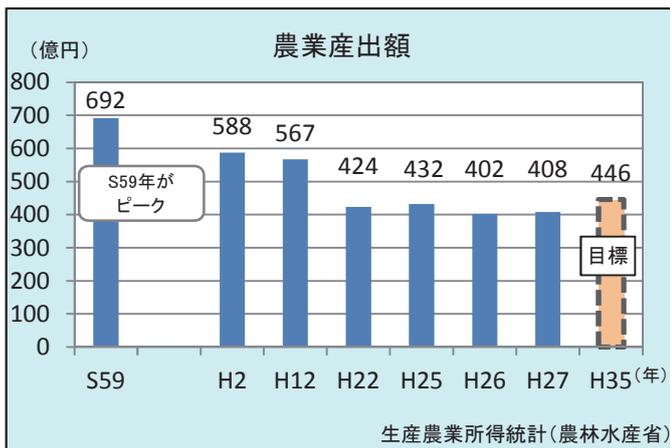


奈良県プレミアムセレクト(イチゴ)

これまでの成果

- ・県産食材のイメージアップやブランド力向上を目的に、平成28年1月に東京白金台にオープンした県産食材レストラン「シエル エ ソル」が、ミシュラン一つ星を獲得しました。
- ・品質によるブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」を創設し、柿、イチゴ(古都華、アスカルビー)、大和牛において、認証基準を設定し、5生産者団体を認定しました。また、首都圏等で販売を実施しました。
- ・農業大学校を改編し、平成28年4月に食と農の担い手を育成する「なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)」を開校しました。

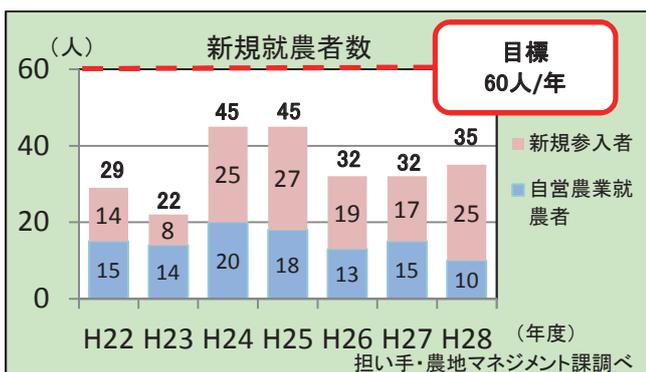
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成35年までに、農業産出額を446億円に増加させます。(H25年度:432億円)
取組	マーケティング・コスト戦略に基づく生産振興に向け、技術支援やブランド化の推進等に取り組みました。
成果	平成27年の農業産出額は408億円で、前年より少し増加しました。野菜、果実等の産出額は維持しているものの、全国的な米価の下落も影響し、ここ数年、農業産出額は伸び悩んでいます。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<p>①平成31年度までに、首都圏での大和野菜を取り扱う仲卸業者を、19業者に増やします。(H24年度:3業者)</p> <p>②平成32年度までに、チャレンジ品目(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り枝花木、有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ)の生産額を20億円に増やします。(H25年度:18億円)</p> <p>③農業の新規就業者を毎年60人増やします。(H18~25年度平均:33人)</p>
------	---



取組	新規就農者に対し、就農相談対応、現地指導、技術研修等を実施しました。(③)
成果	平成28年度の雇用就農を除く新規就農者は35人と、目標の60人には至りませんでした。前年度と同程度の新規就農者は確保できました。販売価格の不安定さや農業資材価格の上昇等、農業全般をとりまく環境の厳しさに加え、農地の確保の難しさが大きな要因となっています。